安全データシート

SDS No. : TN-016J-001-12
作成　　: 2015 年 3 月 2 日
改訂　　: 2026 年 6 月 19 日

製品名：トナー (TS0780AJP, TS0780AWJP, TS0780CJP, TS0780BJP,
TS5180AJP, TS5180AWJP,TS5180BJP, TS8200AJP,
TS8200AWJP, TS8200BJP, TS8230AJP, TS8235AJP,
TS2000AJP, TS2000BJP, DV8230AJP)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称：	トナー
供給者の会社名：	村田機械株式会社
住所：	〒 612-8686　京都市伏見区竹田向代町 136
担当部門：	情報機器事業部 品質保証グループ
電話番号：	075-672-8279
FAX 番号：	075-682-3676
使用機種：	V-780，785，785E，787，787E MFX-5180，5185，5187, 5209 MFX-8200，8205，8207，8230，8235，8237，8239

2　危険有害性の要約

GHS 分類	GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。
GHS ラベル要素	なし
他の危険有害性	粉塵爆発のおそれ

3　組成および成分情報

化学物質・混合物の区別：　　混合物

成分及び含有量

成分名	含有量 wt%	CAS No.	化審法	労働安全衛生法	
			官報公示番号	官報公示番号	通知物質
ポリエステル樹脂	75-85	非開示	既存	既存	非該当
カーボンブラック	0.1-10	1333-86-4	対象外	対象外	通知物質 *
非晶質シリカ	1-10	7631-86-9	(1)-548	既存	非該当

＊「15．適用法令」参照　　国連分類：該当せず　国連番号：該当せず

4　応急措置

吸入した場合：	直ちに空気の新鮮な場所に移動、更にうがいを行う。 呼吸困難を伴っている場合には、人工呼吸などの応急処置をとり、直ちに医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合：	きれいな水で洗い流した後、石鹸を使い洗浄する。
眼に入った場合：	直ちにきれいな水で最低 15 分以上洗浄し、眼科医にて治療のこと。
飲み込んだ場合：	直ちにきれいな水で口内を洗浄し、医療処置を受ける。

5　火災時の措置

使用可能な消火剤：	噴霧水、炭酸ガス、粉末
使ってはならない消火剤：	特になし
特有の危険有害性：	空中に飛散した場合、粉塵爆発のおそれあり。
特有の消火方法：	粉末の飛散を促進させないよう注意する。
消火を行う者の保護：	蒸気・煙の吸入は避けること

安全データシート

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項：　作業時は必要に応じ防塵マスク等の保護具を使用。

環境に対する注意事項：　下水道や河川への漏出を防ぐ。

封じ込めおよび浄化の方法および機材：　ほうきなどで飛散しないようにかきあつめ、濡れ雑巾などで拭き取る。掃除機等を用いる場合、必ず１μｍ未満の微粉末対応かつ防爆仕様の機器を使用すること。

7　取扱及び保管上の注意

取扱い：　防塵マスクなどの保護具を使用して作業を行うこと。
粉塵が高濃度になると考えられる場所では粉塵爆発の危険があるため、高温体、火花、静電気等の着火源になるものを近づけないこと。

保管：　屋内保管。直射日光及び高温多湿の場所を避けること。
気密容器に入れること。

8　曝露防止及び保護措置

	労働安全衛生法	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
	管理濃度	許容濃度 *	TWA
電子写真機用トナー	–	第３種粉塵 8 mg/ ㎥ (総粉塵) 2 mg/ ㎥ (吸入性粉塵)	10 mg/ ㎥ (粉粉塵) 3 mg/ ㎥ (吸入性粉塵)
カーボンブラック	–	第２種粉塵 4 mg/ ㎥ (粉粉塵) 1 mg/ ㎥ (吸入生粉塵)	3.5 mg/ ㎥
シリカ	–	–	10 mg/ ㎥ (粉粉塵) 3 mg/ ㎥ (吸入性粉塵)

* 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 (2023 年度) より

設備対策：　粉塵の吸入を防ぐため、局所排気装置をつける。

保護具

- 呼吸器の保護具：　防塵マスクを使用すること。
- 眼の保護具：　必要に応じて保護眼鏡の着用が望ましい。
- 手の保護具：　必要に応じてゴム又は皮などの手袋の着用が望ましい。
- 皮膚及び身体の保護具：　必要に応じて静電気が発生しづらい着衣が望ましい。

9　物理的及び化学的性質

物理的状態：　固体（粉体）

色：　黒色

臭い：　かすかなプラスチック臭い

融点：　約 140℃ (軟化点)

沸点：　データなし

可燃性：　データなし

爆発限界 (上限 / 下限)：　高濃度で粉塵爆発の恐れがある。(爆発範囲のデータなし)

引火点：　該当しない

自然発火点：　該当しない

分解温度：　>200℃

pH：　データなし

安全データシート

SDS No. : TN-016J-001-12

動粘性率：	該当しない
溶解度：	水に不溶、トルエン・キシレンに部分的に可溶
分配係数：	(n- オクタノール / 水) ; 該当しない
蒸気圧：	該当しない
比重：	1.1-1.3
相対蒸気密度：	該当しない
粒子特性：	約 8.0 μ m(D50)

10 安定性及び反応性

反応性：	特になし
化学的安定性：	安定
危険有害反応可能性：	特になし
避けるべき条件：	特になし
混触危険物質：	特になし
危険有害な分解生成物：	データなし

11 有害性情報

急性毒性：	区分に該当しない * 吸入毒性：LC50 ＞ 5.19mg/l　※この値はテスト可能な最大粉塵濃度 経口毒性：LD50 ＞ 2000mg/kg
皮膚腐食性 / 刺激性：	区分に該当しない 腐食性 / 刺激性無し *
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性：	区分に該当しない 重篤な損傷性 / 刺激性無し *
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	区分に該当しない 感作性無し *
生殖細胞変異原性：	AMES 試験にて陰性 *
発がん性：	分類できない カーボンブラックは国際がん研究機構 (IARC) によって、「グループ 2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)」に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットを用いた慢性吸入曝露試験では、発がん性は認められていない。従って、このトナー混合物は現時点では分類できないと結論づけた。
生殖毒性：	データなし。但し、カットオフ値以上の生殖毒性成分を含有せず。
特定標的臓器毒性（単回曝露）：	データなし
特定標的臓器毒性（反復曝露）：	データなし カーボンブラックを含有したトナーは、ラットを用いた慢性吸入曝露試験で、高濃度 (16mg/m3)、中濃度 (4mg/m3) の曝露環境において、肺に軽度の繊維症が観察されたが、低濃度 (1mg/m3) では特別な変化は見られなかった。本製品の意図された使用方法での通常使用時 (電子写真機器において)、排出されるトナー濃度は 1mg/m3 を大幅に下回っており、健康上の影響はないと判断できる。本製品を機器への充てん作業や使用済容器の廃棄作業等で多量に取り扱う際は、項目 7、8 に従って曝露濃度を管理する必要がある。
誤えん有害性：	データなし

* 類似組成をもつ当社製品のデータによる

12 環境影響情報

生態毒性：	区分に該当しない * 魚類　LC_{50}(96hr) ＞ 100mg/L(WAF) 甲殻類　EC_{50}(48hr) ＞ 100mg/L(WAF) 藻類　ErC_{50}(0-72h) ＞ 100mg/L (WAF)
残留性・分解性：	データなし

安全データシート

SDS No. : TN-016J-001-12

生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし

* 類似組成をもつ当社製品のデータによる

13 廃棄上の注意

産業廃棄物として、関係法令を遵守して焼却または埋設処理を行う。
粉塵爆発のおそれがあるため、トナー、トナーの入っていた容器、トナーの多量に付着した作業用具等を火中に投じないで下さい。
「７．取扱及び保管上の注意」も参照のこと。

14 輸送上の注意

国連番号：	該当しない
品名：	該当しない
国連分類：	該当しない
容器等級：	該当しない
海洋汚染物質：	該当しない
輸送上の注意：	水漏れ、転倒、落下、衝撃を加えたりする等は、破袋の可能性があるので、粗暴な取扱いをしないこと。 直射日光及び高温の場所を避ける。「７．取扱および保管上の注意」も参照のこと。

15 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律： 該当なし

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）： 該当なし

労働安全衛生法：	名称等を表示すべき有害物 (第 57 条の 2) カーボンブラック 名称等を通知すべき有害物 (第 57 条の 2) カーボンブラック 特定化学物質障害予防規則（管理第二物質）該当なし 粉じん障害防止規則：当該製品
消防法：	指定可燃物（合成樹脂類）3000 kg 以上

その他適用法令なし

16 その他の情報

この安全データシートは以下の規格に基づいて作成しています：

JIS Z 7252:2019	GHS に基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253:2019	GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル , 作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
その他情報	労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。
免責文：	記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。
推奨用途：	電子写真方式の複写機、プリンター、ファクシミリ、MFP 用トナー。